



## 平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月8日

上場取引所 東 大 名

上場会社名 日本ペイント株式会社

コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 赤木 勤

TEL 06-6455-9141

定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日

配当支払開始予定日

平成25年6月28日

有価証券報告書提出予定日 平成25年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	233,380	5.0	25,860	58.4	32,962	63.3	20,018	62.6
24年3月期	222,256	△2.3	16,323	2.2	20,187	△0.0	12,312	△14.2

(注) 包括利益 25年3月期 30,207百万円 (169.3%) 24年3月期 11,217百万円 (9.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	75.62	—	13.5	11.7	11.1
24年3月期	46.51	—	9.3	7.5	7.3

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 4,891百万円 24年3月期 4,327百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	287,992	172,024	56.0	609.20
24年3月期	274,105	145,382	49.7	514.45

(参考) 自己資本 25年3月期 161,257百万円 24年3月期 136,183百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	31,848	△6,918	△18,744	42,793
24年3月期	22,483	△3,713	△11,942	35,126

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00	2,382	19.4	1.8
25年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00	3,705	18.5	2.5
26年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00		17.6	

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,000	4.7	13,000	△4.1	15,500	5.8	10,000	27.7	37.78
通期	252,000	8.0	27,000	4.4	33,000	0.1	21,000	4.9	79.33

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	265,402,443 株	24年3月期	265,402,443 株
② 期末自己株式数	25年3月期	699,156 株	24年3月期	685,949 株
③ 期中平均株式数	25年3月期	264,711,484 株	24年3月期	264,724,894 株

(参考) 個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	125,239	2.4	13,772	61.7	27,632	100.3	20,936	113.8
24年3月期	122,303	0.8	8,517	6.0	13,797	48.1	9,791	128.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	79.09	—
24年3月期	36.99	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
25年3月期	208,762	133,743	133,743	112,260	64.1	505.26	505.26	
24年3月期	200,461	112,260	112,260	56.0	56.0	424.08	424.08	

(参考) 自己資本 25年3月期 133,743百万円 24年3月期 112,260百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、財務諸表に対する監査手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 経営方針	8
(1) 会社の経営の基本方針	8
(2) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題	8
4. 連結財務諸表	9
(1) 連結貸借対照表	9
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	13
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	16
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	17
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	17
(表示方法の変更)	17
(追加情報)	17
(セグメント情報)	17
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20
5. その他	20
(1) 役員の異動	20
(2) 販売実績の状況	20

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

当社グループの当期の業績につきましては、国内外において自動車生産台数が増加したことなどから、連結売上高は前連結会計年度と比較して111.2億円増加し、2,333億80百万円（前年同期比5.0%増）となりました。連結営業利益は売上高増加や継続的な原価低減活動の成果もあり、前年同期と比較して95.4億円増加し、258億60百万円（前年同期比58.4%増）となりました。連結経常利益は、連結営業利益が増加したことに加え、為替の変動により外貨建て資産の評価益を計上したことなどから、前年同期と比較して127.8億円増加し、329億62百万円（前年同期比63.3%増）となり、連結当期純利益は前年同期と比較して77.1億円増加し、200億18百万円（前年同期比62.6%増）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当期の対象期間は平成24年1月から12月となります。

#### 《日本》

年度を通して個人消費が堅調に推移したものの、第2四半期に入ってから輸出や設備投資に足踏み傾向が見られました。国内の塗料需要は、下期の出荷数量・金額は前年同期を下回ったものの、年度を通しては前年同期並みとなりました。

このような状況のもと、自動車用塗料については、上期はエコカー補助金の効果により自動車生産台数が大幅に増加したことから売上高は前年同期を上回りました。エコカー補助金が終了した下期の生産台数は前年割れとなったものの、年度を通しては、上期の自動車生産台数が高水準だったこともあり、前年同期と比較して12.7億円増加し、428億22百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

汎用塗料については、戸建て塗替え等のリテール分野や重防食分野の売上高が増加したことなどから、前年同期と比較して31.8億円増加し、394億97百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

工業用塗料については、住宅資材向け塗料の売上高が年度を通して好調だったことなどから、前年同期と比較して14.2億円増加し、394億62百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して21.9億円増加し、1,745億20百万円（前年同期比1.3%増）となり、連結営業利益はコスト削減効果もあり、前年同期と比較して71.7億円増加し、224億42百万円（前年同期比47.0%増）となりました。

#### 《アジア》

中国においては経済成長の鈍化傾向がうかがわれました。タイにおいては2011年末の洪水の影響から脱し、景気の回復傾向が続いています。

このような状況の下、タイの売上高は、年間の国内自動車生産台数が200万台を超え過去最高となったことから自動車用塗料の売上高が大幅に増加したことなどにより、好調に推移しました。

自動車向けプラスチック用塗料事業については、上期の売上高は増加したものの、事業の中心である中国において下期の日系メーカーによる自動車生産台数が減少したことなどから、当期の売上高は前年同期並みとなりました。

船舶用塗料事業については、需要が低迷する中、船底塗料に廉価品を投入したことなどにより当期の売上高は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して46.7億円増加し、370億71百万円（前年同期比14.4%増）となり、連結営業利益は、前年同期と比較して10.9億円増加し、24億49百万円（前年同期比80.5%増）となりました。

持分法適用会社事業は、その中核である中国においては、下期に入ってから不動産取引が回復したことなどから汎用塗料の売上高が前年同期を上回り、中国全体においても売上高は前年同期を上回りました。また、当期から本格的に取り組み始めた経費削減などの企業体質改善・強化の施策の成果が現れ、これに売上高増加の要因も加わり、下期の収益性は改善しました。

これらにより、当地域セグメントの持分法投資利益は、前年同期と比較して5.6億円増加し、48億90百

万円（前年同期比13.0%増）となりました。

《北米》

北米における自動車生産台数は前年同期と比較して大幅に増加し、リーマン・ショック前の水準まで回復したこともあり、自動車用塗料の売上高は前年同期を大幅に上回りました。これに加え、これまでの事業体質改善による効果もあり、利益面では一定水準の営業利益を確保できるようになりました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して40.6億円増加し、191億37百万円（前年同期比26.9%増）となり、営業利益は9億18百万円（前年同期は2億82百万円の営業損失）となりました。

《その他》

当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して2.0億円増加し、26億50百万円（前年同期比8.0%増）に、営業損失は77百万円（前年同期は40百万円の営業損失）となりました。

(次期の見通し)

次期（平成26年3月期）については、日本国内では、汎用塗料は東日本大震災の復興需要などにより需要の増加が見込まれます。一方、自動車用塗料については、エコカー補助金終了に伴い自動車生産台数が減少する見通しであることから、その需要も減少する見込みです。このように、国内の塗料需要は楽観できる状況にありません。原材料については、円安の影響により当期と比較して価格の上昇が見込まれていますが、当社グループとしては、現在遂行中の中期経営計画の方針のひとつである「安価設計・安価調達・安価製造」を推進することにより、国内市場において着実に収益を確保する方針です。

海外においては、北米・中国・タイにおいて自動車生産台数が増加する見通しであることから、自動車用塗料の需要は増加する見込みです。また、中国では不動産取引の回復傾向が続いていることから、引き続き住宅内装用塗料の需要は堅調に推移するものと予想されます。海外事業については、このように増加する塗料需要を着実に取り込み、売上高・利益の確保を図ります。

これらにより、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高2,520億円、営業利益270億円、経常利益330億円、当期純利益210億円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は前連結会計年度末に比べ138.9億円増加して2,879億92百万円となりました。このうち流動資産が96.8億円増加しておりますが、その主な要因は、売上高の回復に加え、営業利益も順調に拡大した結果、営業活動によるキャッシュ・フロー収入の増加により現金及び預金が増加したことなどによるものです。固定資産も42.1億円増加しておりますが、株価の上昇により投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ127.6億円減少して1,159億67百万円となりました。その主な要因は、借入金を返済したことなどによるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ266.4億円増加して1,720億24百万円となりました。その主な要因は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、株価の上昇や為替が円安となったことにより評価・換算差額等が増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は49.7%から56.0%と前連結会計年度末に比べ上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当期は営業活動により318億48百万円の収入、投資活動により69億18百万円の支出、財務活動により187億44百万円の支出があり、結果として現金及び現金同等物(以下「資金」という)は427億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ76.7億円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、318億48百万円（前年同期比93.6億円増）となりました。主要因としては、税金等調整前当期純利益に減価償却費（非現金支出費用）を加味したキャッシュ・フロー収入を388億12百万円計上した一方で、法人税等の支払が102億66百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は、69億18百万円（前年同期比32.1億円増）となりました。主要因としては、有形固定資産の取得に40億85百万円、関係会社株式の取得に26億84百万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は、187億44百万円（前年同期比68.0億円増）となりました。主要因としては、借入金の返済に150億85百万円、配当金の支払に33億47百万円を支出したことなどによるものです。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第184期 平成22年3月	第185期 平成23年3月	第186期 平成24年3月	第187期 平成25年3月
自己資本比率(%)	44.6	47.9	49.7	56.0
時価ベースの自己資本比率(%)	60.1	55.6	60.6	86.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(倍)	3.1	2.2	1.6	0.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	21.3	29.8	41.1	80.1

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。
2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主の皆様に対する配当につきましては、業績に応じた利益配分を行うことを方針としております。

また、内部留保資金は、財務体質の強化や、持続的な成長の実現に向けた投資に充当し、長期継続的に株主価値の向上に努めます。

なお、当期末の配当金につきましては、平成25年4月23日付の適時開示においてお知らせいたしましたとおり、1株当たり8円とし、年間配当金を14円とさせていただきます予定です。

また、次期の年間配当金につきましては、1株当たり14円とさせていただきます予定です。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、子会社63社及び関連会社18社で構成されており、塗料及びファインケミカルの製造・販売を主な事業としております。

当社及び当社の関係会社の事業における位置付け及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

連結子会社	持分法適用会社
<p>－ 日本 －</p> <p>日本ペイント販売株式会社 日本ペイント工業用コーティング株式会社 大和塗料販売株式会社 エーエスペイント株式会社 日本ライナー株式会社 ニッペホームプロダクツ株式会社 株式会社エヌピーカラープラザ 日本ペイント防食コーティングス株式会社 ニッペトレーディング株式会社 日本ファインコーティングス株式会社 日本ペイントマリン株式会社 日本ビー・ケミカル株式会社 エーエスレジン株式会社</p> <p>－ アジア －</p> <p>NIPPON PAINT (THAILAND) CO., LTD. NIPPON PAINT DECORATIVE COATINGS (THAILAND) CO., LTD. ASIA INDUSTRIES LTD. (台湾) NIPPON PAINT PHILIPPINES, INC. NIPSEA CHEMICAL CO., LTD. (韓国) NIPSEA CHEMICAL (SHANGHAI) CO., LTD. (中国) NIPPON PAINT (SHANGHAI) CHEMICAL CO., LTD. (中国) NIPPON PAINT (CHONGQING) CHEMICALS CO., LTD. (中国) NIPPE TRADING (SHANGHAI) CO., LTD. (中国) NIPPON PAINT MARINE (CHINA) CO., LTD. NIPPON PAINT MARINE (ZHANGJIAGANG) CO., LTD. (中国) NIPPON PAINT MARINE (TAIWAN) CO., LTD. NIPPON PAINT MARINE (KOREA) CO., LTD. NIPPON PAINT MARINE (SINGAPORE) PTE., LTD. NIPPON PAINT MARINE (H. K.) CO., LTD. (香港) NIPPON PAINT MARINE (MALAYSIA) SDN. BHD. TUNG YANG CHEMICAL CO., LTD. (台湾) NBC (ASIA) CO., LTD. (タイ) CHANGCHUN DUNYANG NBC CO., LTD. (中国) NBC (PANYU NANSHA) CHEMICAL CO., LTD. (中国) TIANJIN NBC CO., LTD. (中国) WUHAN NBC CO., LTD. (中国) NANJING NBC CO., LTD. (中国) NB (SHANGHAI) TRADING CO., LTD. (中国) BNB COATINGS INDIA LIMITED</p>	<p>－ 日本 －</p> <p>株式会社エコシステムズ</p> <p>－ アジア －</p> <p>NIPPON PAINT (CHINA) CO., LTD. GUANGZHOU NIPPON PAINT CO., LTD. (中国) GUANG LI CHEMICALS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国) NIPPON PAINT (CHENGDU) CO., LTD. (中国) NIPPON PAINT (H. K.) CO., LTD. (香港) NOROO AUTOMOTIVE COATINGS CO., LTD. (韓国) NIPPON PAINT (MALAYSIA) SDN. BHD. PAINT MARKETING COMPANY (M) SDN. BHD. (マレーシア) NIPPON PAINT (SINGAPORE) CO., PTE., LTD. NIPPON PAINT (INDIA) PTE., LTD. NIPSEA MANAGEMENT COMPANY PTE., LTD. (シンガポール) NIPSEA TECHNOLOGIES PTE., LTD. (シンガポール) WATANABE NPIC CO., LTD. (中国) NOROO BEE CHEMICAL CO., LTD. (韓国) NP AUTO REFINISHES CO., LTD. (タイ)</p>

連結子会社	持分法適用会社
<p>－ 北米 －</p> <p>NIPPON PAINT (USA) INC.                      NPA COATINGS INC. (アメリカ)                      NB COATINGS, INC. (アメリカ)                      NB COATINGS CANADA, INC.                      NB COATINGS DE MEXICO SDERL DE CV                      NB COATINGS USA, LLC                      NIPPON BEE CHEMICAL MEXICO, S. A DE C. V.</p> <p>－ その他 －</p> <p>NIPPON PAINT (EUROPE) LTD. (イギリス)                      NP AUTOMOTIVE COATINGS (EUROPE)                      LTD. (イギリス)                      NIPPON PAINT BOYA SANAYI VE TICARET                      LIMITED COMPANY (トルコ)                      NIPPON BEE DO BRASIL TINTAS                      ESPECIAL LTDA. (ブラジル)</p>	

- (注) 1 国内の証券市場に公開している連結子会社はありません。
- 2 NIPSEA CHEMICAL CO., LTD. は平成24年8月20日付でNIPPON PAINT (CHONGQING) CHEMICALS CO., LTD. の株式を取得し、連結子会社としました。
- 3 日本ビー・ケミカル(株)は平成24年10月2日付でNIPPON BEE CHEMICAL MEXICO, S. A DE C. V. を設立し、連結子会社としました。
- 4 NPT MARKETING CO., LTD. は平成24年12月26日付でNP AUTO REFINISHES CO., LTD. に社名を変更しております。

《日本》

当地域では、自動車用塗料・汎用塗料・工業用塗料などの塗料事業及びファインケミカル事業をおこなっております。

自動車用塗料は、当社及び日本ビー・ケミカル(株)が製造し、大和塗料販売(株)や特約店を通じて販売しております。

汎用塗料や自動車補修用塗料は、主に当社及びエーエスペイント(株)が製造または購買し、日本ペイント販売(株)を通じて販売しております。また、重防食塗料・コンクリート防食塗料を製造販売している日本ペイント防食コーティングス(株)があります。

工業用塗料は、国内では当社が製造または購買し、日本ペイント工業用コーティング(株)や特約店を通じて販売しております。なお、金属板用プレコート塗料については、日本ファインコーティングス(株)が製造販売しております。

上記以外には、船舶用塗料製造販売の日本ペイントマリン(株)、家庭用塗料製造販売のニッペホームプロダクツ(株)、道路交通安全施設的设计・施工の日本ライナー(株)、輸出入専門商社のニッペトレーディング(株)などに加え、エーエスペイント(株)と日本ビー・ケミカル(株)の傘下に塗料製造子会社2社があります。

ファインケミカル事業は、表面処理剤やディスプレイ関連材料・電子材料・粒子材料等を当社で製造または購買し、大和塗料販売(株)、日本ペイント工業用コーティング(株)及び特約店を通じて販売しております。

持分法適用会社では、廃塗料及び廃溶剤の再資源化事業会社の(株)エコシステムズがあります。

《アジア》

当地域では、韓国・台湾・中国・香港・東南アジア諸国及びインドにおいて、自動車用塗料・汎用塗料・工業用塗料などの塗料事業及びファインケミカル事業をおこなっております。

当社が直接保有する連結子会社はNIPPON PAINT (THAILAND) CO., LTD. ほかに3社、持分法適用会社はNIPPON PAINT (CHINA) CO., LTD. ほかに11社あり、塗料製造販売会社11社、ファインケミカル製造販売会社1社、塗料販売会社2社、事業統括会社1社、研究開発会社1社となっております。



日本ビー・ケミカル(株)の傘下には連結子会社9社、持分法適用会社1社があり、プラスチック用塗料の製造販売会社9社、販売会社1社となっております。

日本ペイントマリン(株)の傘下には連結子会社7社があり、全て船舶用塗料の製造販売会社となっております。

このほか当社が直接保有する連結子会社の傘下には連結子会社5社、持分法適用会社2社があり、塗料製造販売会社1社、ファインケミカル製造販売会社3社、輸出入専門商社1社、塗料販売会社2社となっております。

#### 《北米》

当地域では、自動車用塗料を中心に事業をおこなっております。

当社が直接保有する連結子会社NIPPON PAINT (USA) INC. を統括会社とし、その傘下に連結子会社5社となっております。塗料の製造販売をおこなっているNPA COATINGS INC. のほか、プラスチック用塗料の製造販売をおこなっているNB COATINGS, INC. があり、その傘下にプラスチック用塗料販売会社3社があります。

また、日本ビー・ケミカル(株)の傘下には連結子会社1社があり、プラスチック用塗料の製造販売会社となっております。

#### 《その他》

その他地域では、自動車用塗料を中心に事業をおこなっております。

英国における統括会社として当社が直接保有するNIPPON PAINT (EUROPE) LTD. があり、その傘下のNP AUTOMOTIVE COATINGS (EUROPE) LTD. が塗料の製造販売をおこなっております。

その他に塗料製造販売会社2社があります。

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

1881年の創業以来、「共存共栄を基本理念とし、社業を通じて社会公共の福祉に貢献する」という経営理念のもと、「価値ある塗膜を提供するスペシャリティケミカルカンパニーとしてグローバルに成長する」「環境保全と資源・エネルギー低減に貢献するエコカンパニーとして信頼される企業となる」という経営ビジョンを共通の価値観としております。

この基本的な考えのもと、全てのステークホルダーとの信頼関係を構築し、社会に貢献していくことが当社グループの社会的責任であると認識し、これらを踏まえた継続的かつ発展的な企業活動に邁進してまいります。

#### (2) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

当社グループでは2009年4月から生き残りをかけた「サバイバル・チャレンジ ステージ1」の取り組みを開始し、製造経費・販売管理費の削減等の成果により、目標として掲げた「2011年度 国内連結営業利益150億円」を達成することができました。しかしながら、今後、国内市場では、自動車・工業用塗料の顧客を中心とした需要の海外移転がさらに進み、国内塗料事業、特に汎用分野では競合との競争の激化が予想されます。一方、海外市場では、需要はアジアを中心に拡大が継続するものの、市場のグローバル化・ボーダレス化が進展し、塗料業界では世界規模の合従連衡が進むことが予想されます。

当社グループは、このような経営環境にあっても、国内市場においてさらなる成長を目指すとともに、将来的には世界のトップ塗料メーカーと肩を並べる、グローバル企業となることを目指しています。この目標を達成すべく、当期（2012年度）からの3年間は次なるステージへ飛躍するための基盤づくりの期間と位置づけ、2014年度をゴールとする中期経営計画「サバイバル・チャレンジ ステージ2」の取り組みをスタートさせました。

「サバイバル・チャレンジ ステージ2」では、「ステージ1」の取り組みを継承しつつ、「確固たる利益体質の定着」、「成長企業への転換」、すなわち「市場から稼げる体質への転換」を基本方針としております。

内需縮小の中、成長戦略を実行するために、「安価設計・安価調達・安価製造」を主軸とした「確固たる利益体質の定着」を基本として、「既存事業の売上・利益拡大」とともに未参入・未塗装分野や非塗料分野の開拓等の「新市場の創造」を目指します。また、海外事業については、アジアでは、安定的な成長を背景に「持続的成長と収益体質の強化」、北米においては「収益基盤の強化」を目標として掲げております。

これらの目標を実現するため、次期以降につきましても、グループの総力を上げてさまざまな施策の実行に取り組み、「サバイバル・チャレンジ ステージ2」を推進してまいります。

4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,126	42,797
受取手形及び売掛金	81,851	81,080
商品及び製品	15,738	15,842
仕掛品	1,431	1,352
原材料及び貯蔵品	7,786	8,705
繰延税金資産	2,879	3,386
その他	3,285	4,538
貸倒引当金	△458	△382
流動資産合計	147,641	157,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,274	26,610
機械装置及び運搬具(純額)	10,278	9,694
工具、器具及び備品(純額)	3,073	3,153
土地	17,558	18,429
リース資産(純額)	660	726
建設仮勘定	894	1,293
有形固定資産合計	59,739	59,907
無形固定資産		
のれん	11,285	11,289
リース資産	48	33
その他	3,778	3,433
無形固定資産合計	15,111	14,756
投資その他の資産		
投資有価証券	46,088	52,495
長期貸付金	213	326
繰延税金資産	3,248	1,546
その他	2,358	2,232
貸倒引当金	△295	△593
投資その他の資産合計	51,613	56,008
固定資産合計	126,464	130,672
資産合計	274,105	287,992

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,628	55,469
短期借入金	22,149	13,765
1年内返済予定の長期借入金	7,071	94
リース債務	280	293
未払法人税等	5,136	6,501
繰延税金負債	4	0
その他	11,786	14,399
流動負債合計	105,058	90,523
固定負債		
長期借入金	7,000	7,883
リース債務	564	611
繰延税金負債	1,246	1,340
退職給付引当金	10,045	10,925
役員退職慰労引当金	265	269
環境対策引当金	319	328
製品保証引当金	475	287
その他	3,749	3,797
固定負債合計	23,664	25,444
負債合計	128,723	115,967
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	95,211	112,318
自己株式	△327	△337
株主資本合計	149,784	166,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383	3,950
繰延ヘッジ損益	△2	0
為替換算調整勘定	△13,982	△9,574
その他の包括利益累計額合計	△13,601	△5,623
少数株主持分	9,199	10,766
純資産合計	145,382	172,024
負債純資産合計	274,105	287,992

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	222,256	233,380
売上原価	148,927	151,341
売上総利益	73,329	82,038
販売費及び一般管理費	57,005	56,177
営業利益	16,323	25,860
営業外収益		
受取利息	48	96
受取配当金	322	366
貸倒引当金戻入額	80	17
持分法による投資利益	4,327	4,891
為替差益	29	2,891
その他	956	1,160
営業外収益合計	5,764	9,423
営業外費用		
支払利息	535	359
たな卸資産廃棄損	214	200
支払補償費	446	486
公開買付対応費用	—	501
その他	704	773
営業外費用合計	1,900	2,321
経常利益	20,187	32,962
特別利益		
固定資産売却益	29	19
投資有価証券売却益	1	0
関係会社事業損失引当金戻入額	7	—
災害損失引当金戻入額	448	—
段階取得に係る差益	—	118
その他	47	—
特別利益合計	534	137
特別損失		
固定資産除売却損	188	213
減損損失	36	322
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	406	88
その他	87	84
特別損失合計	718	712
税金等調整前当期純利益	20,002	32,388
法人税、住民税及び事業税	7,355	11,566
法人税等調整額	△390	△670
法人税等合計	6,965	10,895
少数株主損益調整前当期純利益	13,037	21,492
少数株主利益	725	1,474
当期純利益	12,312	20,018

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	13,037	21,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	489	3,537
繰延ヘッジ損益	△2	2
為替換算調整勘定	△1,285	2,682
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,021	2,493
その他の包括利益合計	△1,820	8,715
包括利益	11,217	30,207
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	10,866	27,996
少数株主に係る包括利益	350	2,211

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
当期首残高	27,712	27,712
当期末残高	27,712	27,712
<b>資本剰余金</b>		
当期首残高	27,187	27,187
当期変動額		
自己株式の処分	0	—
当期変動額合計	0	—
当期末残高	27,187	27,187
<b>利益剰余金</b>		
当期首残高	85,017	95,211
当期変動額		
剰余金の配当	△2,117	△2,911
当期純利益	12,312	20,018
当期変動額合計	10,194	17,106
当期末残高	95,211	112,318
<b>自己株式</b>		
当期首残高	△314	△327
当期変動額		
自己株式の取得	△13	△9
自己株式の処分	0	—
当期変動額合計	△12	△9
当期末残高	△327	△337
<b>株主資本合計</b>		
当期首残高	139,603	149,784
当期変動額		
剰余金の配当	△2,117	△2,911
当期純利益	12,312	20,018
自己株式の取得	△13	△9
自己株式の処分	1	—
当期変動額合計	10,181	17,096
当期末残高	149,784	166,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金		
当期首残高	3	383
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	379	3,567
当期変動額合計	379	3,567
当期末残高	383	3,950
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	△5	△2
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3	2
当期変動額合計	3	2
当期末残高	△2	0
為替換算調整勘定		
当期首残高	△12,153	△13,982
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,829	4,408
当期変動額合計	△1,829	4,408
当期末残高	△13,982	△9,574
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△12,155	△13,601
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,445	7,978
当期変動額合計	△1,445	7,978
当期末残高	△13,601	△5,623
少数株主持分		
当期首残高	9,162	9,199
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	36	1,567
当期変動額合計	36	1,567
当期末残高	9,199	10,766



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
純資産合計		
当期首残高	136,610	145,382
当期変動額		
剰余金の配当	△2,117	△2,911
当期純利益	12,312	20,018
自己株式の取得	△13	△9
自己株式の処分	1	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,409	9,545
当期変動額合計	8,772	26,642
当期末残高	145,382	172,024

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	20,002	32,388
減価償却費	7,527	6,424
減損損失	36	322
受取利息及び受取配当金	△370	△463
支払利息	535	359
持分法による投資損益(△は益)	△4,327	△4,891
有形固定資産除売却損益(△は益)	159	194
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	405	91
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△1,300	—
売上債権の増減額(△は増加)	△9,742	2,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	562	268
仕入債務の増減額(△は減少)	7,331	△4,604
その他	2,202	2,792
小計	23,021	34,957
利息及び配当金の受取額	3,704	7,554
利息の支払額	△546	△397
災害保険金の受取額	668	—
法人税等の支払額	△4,364	△10,266
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,483	31,848
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,085	△4,085
有形固定資産の売却による収入	35	10
投資有価証券の取得による支出	△728	△2,116
投資有価証券の売却による収入	39	22
子会社株式の取得による支出	—	△568
その他	24	△182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,713	△6,918
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,287	△8,883
長期借入れによる収入	—	994
長期借入金の返済による支出	△7,891	△7,196
リース債務の返済による支出	△275	△301
配当金の支払額	△2,117	△2,911
少数株主への配当金の支払額	△358	△435
その他	△12	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,942	△18,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	1,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,780	7,666
現金及び現金同等物の期首残高	28,346	35,126
現金及び現金同等物の期末残高	35,126	42,793

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

直近の有価証券報告書(平成24年6月29日提出)における記載から重要な変更がないため開示を省略しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更による影響額は軽微であります。

(表示方法の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用、汎用、工業用、その他塗料及びファインケミカルの製造・販売を主な事業としており、国内においては当社及び独立した法人が、海外においてはアジア、北米、その他の地域を独立した現地法人がそれぞれ担当しております。

各法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」及び「北米」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	172,325	32,398	15,079	219,803	2,453	222,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,283	2,577	160	13,021	592	13,613
計	182,608	34,976	15,239	232,824	3,046	235,870
セグメント利益又は損失(△)	15,268	1,356	△282	16,342	△40	16,302
持分法投資利益及び損失(△)	△1	4,328	—	4,327	—	4,327
セグメント資産	212,166	29,675	14,825	256,667	2,109	258,776
その他の項目						
減価償却費	5,987	728	789	7,505	22	7,527
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,130	1,174	239	3,544	8	3,553

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	174,520	37,071	19,137	230,729	2,650	233,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,371	3,205	143	14,720	704	15,424
計	185,891	40,277	19,281	245,449	3,354	248,804
セグメント利益又は損失(△)	22,442	2,449	918	25,809	△77	25,731
持分法投資利益	1	4,890	—	4,891	—	4,891
セグメント資産	212,955	36,286	17,209	266,452	2,347	268,800
その他の項目						
減価償却費	4,870	747	782	6,399	24	6,424
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,415	1,813	370	5,600	30	5,631

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)  
(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	232,824	245,449
「その他」の区分の売上高	3,046	3,354
セグメント間取引消去その他の調整額	△13,613	△15,424
連結財務諸表の売上高	222,256	233,380

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,342	25,809
「その他」の区分の利益	△40	△77
セグメント間取引消去その他の調整額	21	128
連結財務諸表の営業利益	16,323	25,860

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	256,667	266,452
「その他」の区分の資産	2,109	2,347
セグメント間取引消去その他の調整額	△24,456	△28,600
全社資産(注)	39,786	47,793
連結財務諸表の資産合計	274,105	287,992

(注) 全社資産は、提出会社における余資運用資金(現預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び繰延税金資産であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	7,505	6,399	22	24	—	—	7,527	6,424
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,544	5,600	8	30	—	—	3,553	5,631

(開示の省略)

リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、企業結合等、賃貸等不動産、連結財務諸表に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため、開示を省略いたします。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
1株当たり純資産額	514.45円	1株当たり純資産額	609.20円
1株当たり当期純利益	46.51円	1株当たり当期純利益	75.62円

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。  
 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	12,312	20,018
普通株式に係る当期純利益(百万円)	12,312	20,018
普通株式の期中平均株式数(千株)	264,724	264,711

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 役員の異動

代表者の異動について  
 該当事項はありません。

(2) 販売実績の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	前年同期比 (%)
塗料事業	208,808	220,391	5.5
自動車用塗料	72,411	81,289	12.3
汎用塗料	39,760	43,770	10.1
工業用塗料	42,133	43,638	3.6
その他塗料	54,504	51,694	△5.2
ファインケミカル事業	13,448	12,989	△3.4
計	222,256	233,380	5.0

(注)金額には消費税等は含まれておりません。